

	岡山大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（創薬科学科（4年制）：40名、薬学科（6年制）：40名） 医歯薬学総合研究科（M：40名、D3：10名、D4：6名）
沿革・設置目的	<p>薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、岡山大学医学部薬学科を経て、昭和51年、岡山大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 岡山大学設置 昭和44年（1969年） 岡山大学医学部薬学科設置 昭和48年（1973年） 大学院薬学研究科を設置 昭和51年（1976年） 岡山大学薬学部設置 昭和61年（1986年） 大学院薬学研究科（D3）を設置（平成17年（2005年）に医歯薬学総合研究科に改組） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成18年（2006年） 薬学科（6年制）、創薬科学科（4年制）を設置 平成24年（2012年） 医歯薬学総合研究科薬学系（D4）を設置</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山大学の理念等に基づき、臨床と研究を目指す者の相乗効果により、広範な知識や、地域医療や病院業務等の「実学」を身につけた、多様な職域で指導的立場で活躍できる薬剤師等を育成するとともに、広く薬学に関連する生命科学領域において指導的な立場に立つ、臨床の知識をも身につけた研究者、技術者を育成する。 ○ 地域の現職薬剤師の高度化・スキルアップに向けた取組や、岡山大学病院3次救急センターへの薬学教員の参画・業務従事及び東日本大震災時の実践的経験を踏まえた救急薬学講座の構築などを通じて、社会的な課題の改善を目指す。 ○ 基礎的な薬学から、医療系学部や理工系学部と連携した分子イメージング教育研究や難治性感染症を標的とした教育研究まで、広い領域において研究開発や人材養成を行う。